



平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月1日

上場会社名 株式会社地域新聞社 上場取引所 東
 コード番号 2164 URL http://www.chiikinews.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近間 之文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長兼経営管理部部長 (氏名) 宮本 浩二 (TEL) 047-420-0303
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年8月期第3四半期の連結業績 (平成26年9月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	2,566	—	95	—	99	—	55	—
26年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年8月期第3四半期 55百万円(—%) 26年8月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	29.90	—
26年8月期第3四半期	—	—

(注) 平成27年8月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年8月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第3四半期	1,751	924	52.8
26年8月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年8月期第3四半期 924百万円 26年8月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	13.50	13.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の連結業績予想 (平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,507	—	148	—	150	—	79	—	43.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年8月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社ショッパー社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期3Q	1,843,800株	26年8月期	1,843,800株
② 期末自己株式数	27年8月期3Q	115株	26年8月期	115株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年8月期3Q	1,843,685株	26年8月期3Q	1,843,703株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第2四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、連結経営成績及び連結財政状態の前年同四半期等との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、金融緩和や各種経済政策を背景に、円安の進行や株高傾向が継続し、また、原油価格の下落の影響もあって、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移しております。個人消費についても、持ち直しの兆しがみられるものの、海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクもあり、今後については不透明な状況が続いております。

当社の属するフリーペーパー・フリーマガジン市場は、媒体及びターゲットの多様化が進んでおりますが、紙媒体だけでなくインターネット広告との価格競争が恒常化するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、平成26年12月25日に株式会社東京新聞ショッパー社(同日付で株式会社ショッパー社に社名変更)の全株式を取得し、子会社化いたしました。これにより、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。今後、株式会社地域新聞社と株式会社ショッパー社双方が有する顧客基盤、編集・営業ノウハウを融合させ、経営資源の共有、活用を積極的に推進し、当社グループが提供するサービスを一層充実させてまいります。この子会社化により、当社グループの基盤事業である新聞等発行事業は2県55エリアで55版の発行から1都3県61エリアで61版を発行と増加し、週間の発行部数はおよそ204万部から290万部(平成27年5月末現在)と増加することとなりました。

新聞等発行事業における地域新聞社の施策といたしましては、編集スタッフの増強、各営業拠点それぞれに編集スタッフを配置することにより、地域に密着した情報収集をさらに強化し、読者に毎週楽しみにしていただける紙面内容にさらに進化発展させてまいりました。

また、「ちいき新聞」(フリーペーパー紙面)と「チイコミ」(地域情報コミュニティーサイト、Web事業が運営)との連携をさらに強化させ、より付加価値の高い広告提供を実現し、顧客満足度を高めてまいりました。

ショッパー社の施策としましては、「ショッパー」をより地域に密着した媒体へと進化発展させていくため、「さいたま大宮・上尾版」(14万9,000部発行)のエリア細分化の準備を進め、平成27年7月より4エリアに分割することを決定いたしました。

上記のような施策を行っておりますが、フリーペーパー市場の競争は更に激しさを増しております。

折込チラシ配布事業におきましては、地域新聞社だけでなくショッパー社においても、それぞれの地域にカスタマイズされた独自の地図情報システム(GIS)を活用することにより、広告主の顧客ターゲットが明確となり、効率的かつ広告効果の最大化を図るサービスを実現し、既存の広告主への継続的な販売が増加、さらに新規取引顧客が拡大しております。

その他事業については、千葉県柏市において「ランチパスポート柏版」を創刊し、新たに出版事業に進出をいたしました。また、フリーペーパー紙面を活用した講演チケット取扱事業を強化し、今後、事業の柱の一つとして育成してまいります。

また、今後の事業拡大に備え、人事戦略として優秀な人材を前倒しで確保、エリア戦略としては地域新聞社で新たに津田沼支社及び市川支社を前倒し開設、ナショナルクライアントを新規開拓するためショッパー社で東京支社を前倒しで開設しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,566,978千円、経常利益は99,028千円、四半期純利益は55,140千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

A. 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,751,363千円となりました。この内訳は流動資産合計1,384,893千円、固定資産合計366,469千円となっております。

B. 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は826,660千円となりました。この内訳は流動負債合計581,234千円、固定負債合計245,426千円となっております。

C. 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、924,702千円となりました。この主な内訳は資本金203,112千円、資本剰余金133,112千円、利益剰余金588,507千円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期の連結業績予想につきましては、平成27年3月31日に公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、新たに株式会社東京新聞ショッパー社(平成26年12月25日付で株式会社ショッパー社に社名変更)の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年5月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	893,085
受取手形及び売掛金	439,854
商品及び製品	128
仕掛品	6,016
配布品	4,016
貯蔵品	1,190
その他	49,301
貸倒引当金	△8,700
流動資産合計	1,384,893
固定資産	
有形固定資産	54,109
無形固定資産	
のれん	45,174
その他	104,267
無形固定資産合計	149,442
投資その他の資産	
その他	168,169
貸倒引当金	△5,251
投資その他の資産合計	162,918
固定資産合計	366,469
資産合計	1,751,363
負債の部	
流動負債	
買掛金	158,897
未払法人税等	337
未払金	273,490
賞与引当金	32,443
ポイント引当金	800
その他	115,265
流動負債合計	581,234
固定負債	
退職給付に係る負債	184,155
資産除去債務	10,201
その他	51,069
固定負債合計	245,426
負債合計	826,660
純資産の部	
株主資本	
資本金	203,112
資本剰余金	133,112
利益剰余金	588,507
自己株式	△30
株主資本合計	924,702
純資産合計	924,702
負債純資産合計	1,751,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	2,566,978
売上原価	716,315
売上総利益	1,850,663
販売費及び一般管理費	1,755,438
営業利益	95,225
営業外収益	
受取利息	568
受取手数料	650
保険解約益	1,135
業務受託料	3,300
その他	365
営業外収益合計	6,020
営業外費用	
支払利息	424
業務受託費用	1,770
その他	21
営業外費用合計	2,216
経常利益	99,028
特別損失	
リース解約損	711
本社移転損失	1,412
特別損失合計	2,124
税金等調整前四半期純利益	96,904
法人税、住民税及び事業税	20,834
法人税等調整額	20,929
法人税等合計	41,764
少数株主損益調整前四半期純利益	55,140
四半期純利益	55,140

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55,140
四半期包括利益	55,140
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	55,140
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。